

～下記の研究を行います～

『血液培養陽性患者を対象とした医師と薬剤師による介入が菌血症の適正治療に及ぼす影響』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】血液培養陽性患者を対象とした医師と薬剤師による介入が菌血症の適正治療に及ぼす影響

【研究責任者】今西 嘉生里

【研究の目的】血液培養が陽性となった患者を対象に、医師と薬剤師が共同してモニタリングと介入を行うことにより、適切な治療の実施率が変化するかどうか調べることを目的としました。

【研究の期間】研究許可日～2020年3月31日

【研究の方法】当院のみのデータを用いて行う後ろ向き観察研究

●対象となる患者さん

当院において、2012年4月～2020年3月31日までの期間に、血液培養陽性となった患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

- ①患者基本情報：性別、年齢、体重、血清クレアチニン値、クレアチニンクリアランス（Cockcroft-Gault式による推定値）、集中治療病棟への入室有無、治療期間、使用抗菌薬、血圧、呼吸数、意識状態、死亡の有無
- ②疾患情報：既往歴、感染症病名、血液培養の結果

【研究の資金源】ありません

【利益相反】臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 薬剤部 薬剤師 今西 嘉生里